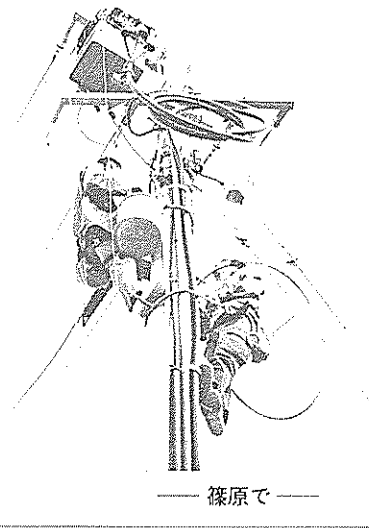




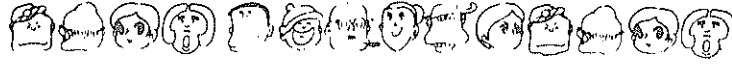
# 市民のひろば



— 篠原で —

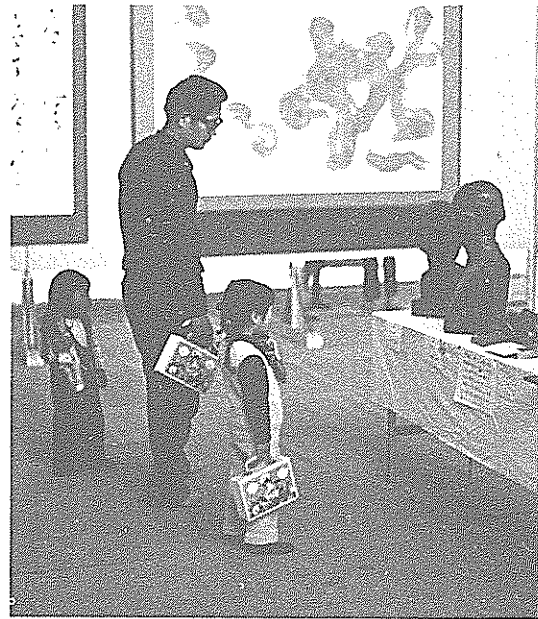
## 意欲ある若人の作品

### 淋しい日本画・漫画



#### 第12回・南国市展

☆ 第12回目を迎えた市の美術展は、11月26日から12月3日まで、市民体育館で開かれました。ことし出品された点数は、286点で、洋画、彫塑工芸—筒井広道、大野竜夫、日本画—田岡耕作、書道—松岡雲峰、漫画—平山昌幸、写真—寺田正、浜田豊繁の各審査員の審査で、198点が入選。児童、生徒の作品もかざられ大盛況に終わりました。



パパと一語に美術のお勉強

#### 親子クイズ⑩

あなたもクイズをあててみませんか？ 答えは今月号の広報に載っています。

##### ▼もんだい

- ①土地の先買い制度ができ〇〇月1日から市街化区域内の土地の取引が制限されることになりました。
- ②市の庁舎は、地上〇階建てです。
- ③1月1日から〇〇歳以上の老人に老人医療費が支給されることになりました。

▼しめきり・1月15日(月)▼おくりさき・南国市東崎、南国市役所内、広報委員会▼しょうひん・特賞 2,000円1人、残念賞(記念品)10人

お年玉クイズは、庁舎落成記念特集号(3月1日発行)までのぼします。

##### ★特賞に川久保幸美さん(片山)

##### 第15回の正解者発表

▼こたえ、市庁舎落成12月②④日、ゴミ焼却場1日⑧⑩トンの焼却能力、1日課長の原稿しめきり1月②⑩日

▼特賞 2,000円 川久保幸美(片山) 残念賞 記念品 前田信子(稲生) 松村鈴香(八幡) 岡田由(里改田) 森本康宏(定林寺) 久米世津(久礼田) 小川勢子(田村) 常徳利秀(前浜) 公文恭子(大浦) 浜田光代(稲生) 島本美知(立田)

【審査評】昨年より活気がある。とくに若い人が進出して、意欲的などりくみが見られてきた。今後の展覧会を充実していくものと期待したい。

##### ◆洋画

- 【無鑑査】島村義一(片山)
- 【特選】田島信巳(大浦) 南武志(明見) 武内光仁(白木谷)
- 【褒状】葛目英男(大浦) 田島崇(高知市) 細川義彰(上野田) 吉川直也(金地) 川添俊明(岡豊)
- 山崎次(大浦) 吉川秀子(三富)
- 橋詰正利(植田) 関敏夫(高知市)
- 【入選】大崎貴志、宮崎繁則②、恒石光康、西川寿夫②、田中くるみ、岩崎倫子、佐々木伸一郎、筒井孝治、林敏和②、西浜京子(以上、高知農高) 岡上正義(片山)
- 川添豊明(篠原) 田島恒士②(大浦) 葛目英男、田島信巳、田島崇、吉本さゆみ(大浦) 吉川直也、藤中美佐恵(廿枝) 中沢明夫②(大浦) 南武志、森寿正(東崎) 橋詰正利③、武内光仁、広地利一(土佐山田町)

##### ◆写真

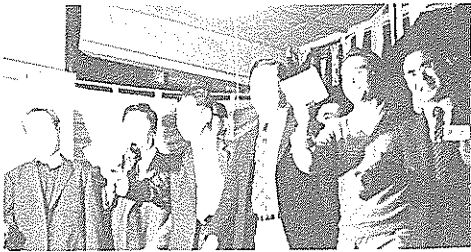
- 【特選】浜田庄平(田村) 溝瀬和(片山) 水田貴士(岡豊) 池本盛彦(篠原) 原孝士(土佐山田町)
- 【褒状】吉川俊雄(久礼田) 森田長広(岡豊) 川添進一(大浦) 田内文夫(大浦) 岡本守正(大浦) 徳弘秀俊(野市町) 山本清志(高知市) 黒岩秀夫(岡豊) 池本仁(後免)
- 【入選】梶原隆一(高知市) 岡本守正③、水田貴士③、溝瀬和⑤、田内文夫、沢谷武②(田村) 宮本久男(後免) 筒井真道④(大浦) 池本盛彦⑥、中岡成(高知市) 原孝士②、光原哲雄④(大浦) 田岡智(西野田) 山本次男(田村) 浜田祐享②(前浜) 山本美喜(田村) 小松久芳(岡豊) 小原敏男②(高知市) 浜田司誠③(前浜) 市山秀明②(東崎) 森田長広③、鎌倉純一(片山) 中山弘雅(大浦) 山本清志④(高知市) 浜田庄平③、橋本京邦(片山) 徳弘秀俊、竹村和実(岡豊) 北村起章(永田) 岡村光雄(後免) 黒岩秀夫③(岡豊) 吉川俊雄②、吉川孝志②(土佐山田町) 土居正道(立田) 小松隆志(岡豊)

【審査評】カラーの部は乳剤の進歩という点を差引いても立派なできばえ。ピントの悪いもの、みだりに伸ばしたためリアリティが弱くなったものも少なくなかった。

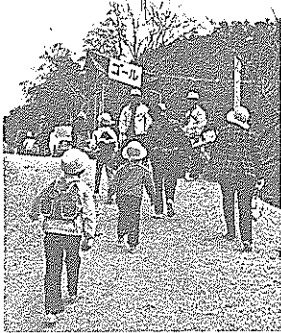
#### トピックス



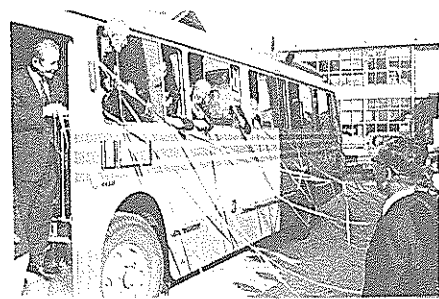
▲としはとつても若い者には負けれらん。老人クラブ春秋会(浜改田)は、海岸の古ビニールなどゴミの清掃にアタック。このほど晴れの厚生大臣賞を受賞されました。



▲太平洋戦争の末期、本土決戦にそなえて明見、介良野伊地区に分宿していた甲飛第13期生30人は、地区の人たちを招いて感謝の会を開いた。当時、イカグリ頭の腕白少年も、今は40歳代の中堅クラス……松村治さん寄稿



▲磁石と地図をたよりに小遊から白木谷までの山越え。市民の体力づくりを、と開いた初めてのオリエンテーリング。食べ放題のみかん狩りもかねていただけに、おなががいっぱいで動けない子もちらほら……白木谷小のゴールで



▲お風呂に入って「断絶」を洗い流そう、と明治、大正、昭和の3代青年60人が純川温泉(松山)へ出発。